

令和2年度子ども・子育て支援推進調査研究事業

<調査研究報告書タイトル>

医療従事者のための児童虐待初期対応研修の在り方に関する調査研究

<実施主体名>

PwC コンサルティング合同会社

(以下、調査研究報告書の概要を記載。)

【目的】

虐待対応に関する医療従事者の関心を高めるとともに、基本的・具体的な対応スキルを身につけることのできる研修コンテンツの開発を目的として実施した。具体的には令和元年度の厚生労働省事業の内容を継承しながら、レベル設定や想定受講者を見直し、研修コンテンツを刷新し、モデル研修を実施し効果測定を行った。また作成した研修コンテンツの周知・利用促進について検討を行った。

【概要】

○コンテンツ開発

- ・ターゲット：医療従事者、コメディカルを中心とし、児童虐待に関する医療的な知識を要する者

- ・研修コンテンツ構成：共通セッション（35分）、医科専門セッション（25分）、歯科専門セッション（20分）の3部

○モデル研修

- ・開催日時：令和3年1月22日（金）18:20-20:00

- ・方法：オンライン

- ・申込者：560名、参加者：370名

○事業検討委員会

- ・委員9人、オブザーバー3名（モデル研修のコンテンツ執筆者）で構成。全5回開催

【結果】

モデル研修ではアンケート結果より、日常の診療に活かせそうだと感じた受講者は70.3%、更に虐待対応について学びたいと感じた受講者は91.6%となり、期待した結果が得られた。また、新たに加えた歯科コンテンツは歯科の医療従事者だけでなく、医科の医療従事者からも大きな反響を得た。研修コンテンツは利用ルールを定めたうえで医療従事者向けに無料共有できるようにしたため、地域での研修での活用が期待される。